

再造林推進宣言

森林資源の循環利用の実現には、「伐って、使って、植えて、育てる」といったサイクルの確立が求められています。

森林は、山地災害の防止や二酸化炭素を吸収する機能など、さまざまな公益的機能を有しています。

また、SDGs などに取り組む企業などが増加している中で、再造林が担保された木材を利用しようとする動きが活発化しています。

このようなことから、再造林を推進することは重要であり、森林・林業・木材産業をはじめとする多様な関係者の相互の課題として捉え、ここに次のとおり宣言します。

1. 伐採後の再造林を確実に実施するため、効率的に林業が行える林業適地において、森林の集約化を進めます。
2. 造林等の低コスト化につながる技術の活用に積極的に取り組みます。
3. 多様な人材が活躍できるよう、安全で魅力ある職場づくりに取り組みます。
4. SDGs の目標 12（つくる責任 つかう責任）及び目標 15（陸の豊かさも守ろう）の達成を念頭に、多様な関係者が連携した仕組みづくりに率先して取り組みます。

令和5年10月23日

高知県再造林推進会議

会長 戸田 昭